

公衛協相互の情報交換の場 尾道市で体験交流研修を開催

2月22日に、公衛協相互の情報交換の場である「体験交流会」が開



尾道市公衛協オリジナルのフレイル紙芝居の上演(上)、体力測定メニューの体験(右上)、体験したプログラムを振り返り交流する参加者(下)

午後からは、尾道市公衛協オリジナルの「フレイル紙芝居」が上演

され、フレイル予防に関心を持たせた後、各地区のイベントなどで実施している体力測定メニューを体験しまし

午前中は、主に尾道市公衛協で実施している環境づくり・健康づくり事業と組織体制について紹介いただきまし

催のきっかけづくりを目的に、当協会主催の体験交流研修を開催しました。

識者を交えた防災井戸事業 持続可能な運用方法を協議

①福山市公衛協

このシリーズでは、他の公衛協の活動を知り、今後の公衛協活動に活かしてもらうことをねらいに、公衛協の実践活動取材し、取り組みの工夫や秘訣、時には失敗談などを紹介していきます。



避難所に井戸水を運ぶ

平成30年7月豪雨を受けて、環保協・公衛協では、防災の取り組みの必要性を検討して

きました。令和2年、福山市公衛協が音頭をとり、竹尋学区で自治会・福山市立大学・環保協が連携した防災井戸のモデル事業がスタートしました。

から、①避難所からの距離や井戸へのアクセス、利用度や水量などから優先井戸を定めること、②水質によって生活用水の中でも、「清掃」「洗濯」「風呂」などに仕分けできること、③下水も考慮することなどの助言をいただきました。

町内会ごとに優先井戸を設定し、「環境と健康のコミュニティ活動助成金」や環境・健康募金を活用して、水質検査を行ったり、ポンプ、タンクなどを整備しました。

想定した通りに運用できるか、令和5年11月、防災訓練の日に、リハールを実施しました。

読者の皆さまから、我がまちの公衛協活動の特色・ウリなどの取材依頼をお待ちしております。

広島サッカーの奇跡

「レジーエン ス、ゲー」の言葉を借りれば「メタモルフォーゼ」、そして最近の言葉では「クオントムリフ(量子的飛躍)」とも呼べるものではないか▼日本代表監督 森保一さんも、「ついついことはあると思う。サンフレッチェ初優勝年の最大のライバルは、震災翌年のベガルタ仙台だった」と、悲劇を乗り越えたチームの強さを、しみじみ語りました。

代表取締役社長 仙田信吾

きんせんか 琴線歌

エディオンピースウィング広島は開幕以来、満員の盛況が続きます。広島に新たな感動拠点が生み出されました▼サッカー

「王国広島には奇跡の記録があります。被爆のわずか2年後、広島高等師範学校附属中学校が全国中学校蹴球大会で優勝したのです。校舎は倒壊、グラウンドは芋畑を整地し直し、ボールは一個か二個しかなく、しかも皆が被爆者でした。東洋工業は、1965年の日本リーグ初年から4連覇を果たします。そして1968年のメキシコ五輪の銅メダル獲得時、日本代表18人中6人が広島、監督も広島出身の被爆者 長沼健さんでした▼

借用語で学用語で



一般財団法人 ～みんなの生命をまもりつづけたい～ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念

みんなの生命(いのち)をまもりつづけたい。
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

かんぽきょう

検索

